

盛金富士&熊の山山行報告

【山行日】2021年3月31(水) 晴れ
【集合】道の駅「しもつけ」 AM 7:00
【費用】マイカー2台 : 1,500円
【メンバー】CL:鈴木ユ、SL大西 安西、島田、関、田村、福田ケ、福田夕、松葉、渡辺
【コースタイム】道の駅「しもつけ」7:00＝下小川駅 P9:00/9:15～盛金富士 10:10/10:20～下小川駅 10:50/11:00～熊の山 12:10/12:20～熊の山登山口 12:50/13:20～下小川駅 P 14:00/14:1 道の駅「みわ」14:55/15:15＝道の駅「しもつけ」16:00



去年、イワウチワの群生地を見に盛金富士に登る予定だったが、コロナ感染の拡大で計画を断念した。今年は是非見に行きたいと、イワウチワの開花情報を確認して計画した。盛金富士だけでは



2時間足らずのコースタイムなので、久慈川の対岸にある熊の山と併せて登る計画にする。道の駅「しもつけ」を7時に出発し、車を駐車できる下小川駅に向かう。新4号を北上し柳田橋から高根沢町、烏山市街を通過して国道293号線に出る。鷺子から県道32号線を行き、タバッコ峠から右に狭い林道を進む。この林道は下小川駅に最短で行けるので、前日に通行できるか確認しておいた。狭い道で対向車があると困難だが、この道のお蔭で下小川駅に2時間で到着できた。

出発の準備を整え、トイレとストレッチを済ませたら出発する。駅の駐車場から舗装道を右に進み、5分くらい歩いたら左折し突き当りを左折すると登山口に到着。立派な鳥居が建つ登山口で記念写真を撮り、ここからは2班に分かれて登る。

A班は周回するコースを行くが、B班はピストンで登ることにした。

自然林の山道を登って行くと、伐採地に出て大展望が得られる。伐採地の上部まで登るとベンチがあり、ここで休憩して衣服調整をする。そこから尾根の階段を登るようになり、西側の斜面にイワウチワの花が見られるようになる。ヤセ尾根の急坂を登るようになると、イワウチワの花が多くなり、大群落が見られる。皆さんから「ウワ～凄い、綺麗だね」と歓声が上がります。



満開の花は丁度見頃で、「こんな山があったんだね」と花を愛でながらゆっくり登って行く。

最後の急登を登り切ると石祠やベンチ、テーブルがある盛金富士山頂に着く。
山頂には三等三角点が置かれ、南西側が開け久慈川の向こうに集落が見える。



山頂で休憩を取りキーウイフルーツや菓子をいただく。反対側から別のパーティが登ってきたので、記念写真を撮ったら場所を空けて下山する。山頂からは南に向かって下るが、こちらも急坂で滑らぬよう慎重に下る。南側の斜面は暖かく、咲き始めたミツバツツジや新緑が疲れを癒してくれる。

石仏が祀られた所を左に急角度で曲がり、採石場の上部から左折すると平山橋は近い。ところが上から見ると平山橋は黄色と黒のフェンスで

囲われ、通行できないように見える。農作業していた男性に確認すると「通れません」との返事が返ってきた。仕方が無く道路に出たら左に進み、下小川駅を通過して道路を歩き下小川橋を渡って熊の山に向かうことにする。下小川駅に寄ってトイレを済ませ、道路を20分歩いて熊の山登山口に到着。

墓地の脇を通過して沢沿いの登山道を登り、沢を渡って緩やかに登ると平山橋からの尾根道と合流する。さらに登ると高塚山への道標を見て、左の鳥居をくぐると急な石段が山頂に向かって伸びている。200段ほどの急な石段を登ると、熊野神社がまつられた熊の山山頂に着く。山頂からの展望は雄大で、遠くは八溝山、近くは高塚山から奥久慈男体山まで見渡せる。ベンチを確保し昼食の準備を始めるとTELがあり、B班は熊の山の登山口が見つからないとの事。仕方がないので全員下山し、下で昼食を食べることにする。山頂で記念写真を撮ったら下山開始し、熊の山登山口に向かう。



石段を降りたら我輩が先行し、登山口まで下りて道路を見渡すと、二人がうろうろしていた。大声で呼び戻し、登山口手前の集会所の庭の桜の木の下でランチタイムとする。

キノコ汁を温め、おにぎりに出汁巻き卵、漬物や煮物が並び美味しくいただいた。昼食が済んだら往路を戻り、下小川駅に着いたらトイレを済ませて帰路につく。途中、道の駅「みわ」に寄り、野菜や花豆、サツマイモ等をゲットする。ここで買った「甘太郎」という品種のサツマイモは、焼芋にしたら甘くて超美味しかった。